



「わたしたちのくらしとはたらく人々」

吹田市立青山台小学校

★単元目標

- 自分たちの地域にあるビール工場について知り、ビールの生産には一定の順序や工程があること、生産されたものが地域や日本の他の地域、外国にも出荷され飲まれていること、それを支えるビールづくりに携わる人々の仕事について理解する。【知識・技能】
- ビール工場の見学を通して必要な情報を集め、原料の輸入や製品の行き先の地図から地域間のつながりを読み取り、調べたことなどを新聞などにまとめる。【知識・技能】
- ビール工場の仕事にみられる原材料の仕入れや、施設や設備、仕事の種類や手順とビールの生産の工夫を関連付けて考えたり、ビール工場が昔から吹田にあることと地域の人々の生活や願いと関連付けて考えたりして、生産の仕事に関わる様々な工夫について考え表現する。【思考・判断・表現】
- 地域の生産の学習を通して、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。【学びに向かう力】

育みたい情報活用能力

課題について調べたことを、相手に伝わりやすくするために資料を効果的に活用する力

本時の目標

- 3-1 ビールができるまでの流れをまとめよう。
- 3-2 ビール工場のくふうを見つけるために、何をどのように調べるか考えよう。

実態からわかること

- ・事前の学習より自ら課題を設定し、どのように解決していくかを考える機会を積極的に設ける。
- ・資料を活用する意欲を生かし、学習の見通しを持たせることで主体的に取り組める。
- ・ICTや思考ツールを活用することで、考えを可視化し、順序化する支援が有効。

子どもの実態

① 社会科という新しく学習する教科に対して、自らの課題や調べたいテーマを設定することに難しさを感じている。

② 写真やワークシートなどの資料を使うことには慣れてきており、活用しようとする姿勢がある。

③ 調べたことに対してまとめる際に、どのような方法でまとめると効果的であるか、相手に伝わるかを整理することが難しい児童がいる。

★使用するツールやコンテンツ等

- ・教科書：わたしたちのまち吹田・大阪(吹田市教育委員会) 工場に関する本 インターネット 【情報収集】
- ・MetaMoJi Classroom3 新・ミライシード 【整理分析】【まとめ・ふりかえり】
- ・思考ツール 【整理分析・視覚支援の手立て】

★単元計画（全 11 時間）

	学習内容	主な評価規準【観点】
第1時	工場の写真を見て知っていることや気づいたことなどを話し合おう。 航空写真（アサヒビール工場・山崎製パン）	工場の写真や航空写真から気付いたことを読み取り、自分の考えを表現している。 【思考・判断・表現】
第2時 本時 3-2	学習の計画を立てよう エージェンシートを使ってまとめよう。 新ミライシードやメタモジ、ノートなどを使ってまとめよう。	工場について調べる方法を考え、見通しを持って計画を立てることができる。 【思考・判断・表現】
第3時 本時 3-1	ビールはどのようにして作られているのだろう。 エージェンシートを使ってまとめよう。 新ミライシードやメタモジ、ノートなどを使ってまとめよう。	工場で働く人の様子やくふうを理解することができる。 【知識・技能】
第4時	原料はどこからくる、製品はどこへ行くのだろう。 エージェンシートを使ってまとめよう。 新ミライシードやメタモジ、ノートなどを使ってまとめよう。	原料や製品が他の地域や外国とつながっていることを理解することができる。 【知識・技能】
第5時	昔から続くビールづくりについて考えよう。 エージェンシートを使ってまとめよう。 新ミライシードやメタモジ、ノートなどを使ってまとめよう。	環境の視点と地域の人々の生活の間の関係について考え、話し合うことができる。 【思考・判断・表現】
第6時	工場見学の計画をたてよう。	工場見学で確かめたいことや調べたいことを考え、見通しをもって見学計画を立てることができる。 【思考・判断・表現】
第7時	工場をたずねよう。	ビール工場の施設や設備、働く人々の仕事の様子について、必要な情報を進んで集めることができる 【学びに向かう力】
第8時	工場をたずねよう。	ビールづくりの工程や工夫、働く人々の役割について理解することができる 【知識・技能】
第9時	新聞を書いて、くふうをまとめよう①	見学や資料から分かったことを整理し、生産の工夫と関連付けて新聞にまとめることができる。 【思考・判断・表現】
第10時	新聞を書いて、くふうをまとめよう②	集めた情報を適切に活用し、相手に分かりやすく伝えるように新聞を完成させることができる。 【思考・判断・表現】
第11時	それぞれの新聞を見比べよう。	それぞれの新聞を見比べて、改めてわかったことをまとめたり共通点を出し合ったりすることができる。 【思考・判断・表現】

★本時の展開 3-2 (2 / 1 1 時間)

学習の流れ	主な学習活動と内容（子どもの反応）	支援や情報活用のポイント ☆：情報活用能力のポイント
導入(5分)	本時のめあてを確認する。 学習の計画をたてよう。 エージェンシートを使ってまとめよう。 アサヒビール工場について	
展開①（15分）	調べることを確かめよう。 ・単元のめあてと各時間のめあてを計画表に書く。 ・教科書から抜き出す。	☆計画の記入は、紙かタブレットを選んでできるようにする。 ・時間までに書けなかった人には、最後のまとめの時に、書く時間があることを伝える。 ☆各自の進捗状況を見てもよいことを伝える。
展開②（10分）	調べ方を考えよう。 ・各時間にどのように調べていくかを計画表に書く。（教科書、見学、インタビュー、パンフレット、インターネットなど）	☆各自の進捗状況を見てもよいことを伝える。
(5分)	友だちにそれぞれの時間にどのような調べ方にするか伝える。	
まとめ・ふりかえり（10分）	・調べること・調べ方などの自分の学習計画についてまとめる。追加や修正を加える。 ・ふりかえりを書く。	【まとめ・ふりかえり】

★本時の展開 3-1 (3/11時間)

学習の流れ	主な学習活動と内容（子どもの反応）	支援や情報活用のポイント ☆：情報活用能力のポイント
導入 (1分)	本時のめあてを確認する。 ビールはどのようにして作られているのだろう。	☆新ミライシードのオクリンクプラスに、今日の学習のカードを配る。
展開① (5分)	今日の学習の計画をたてよう。 ※教科書P44、P45をもとにして考える。 ※学習の見通しをもつ。	☆学習の見通しをもち、相手に伝わるまとめ方をさせる。 フィッシュボーン図（カード2枚目） 学習計画表（カード3枚目）
展開② (10分)	ビールの作り方をまとめよう。 ・個人で行う。 ※様子を見てライブビューを行ったり、児童の様子を見て提出BOXに提出したりしてもらう。	☆相手につたわるようにまとめる。 文、写真、思考ツール、AIなど 【整理分析】 かだいについて知っていること（カード4枚目） まとめ用カード（カード5枚目）
展開③ (5分)	かくにんをしよう。 かくにんタイム ・かくにんチェック表をもとに、確認する。 ・児童全員、提出BOXに提出する。 →名前は見えないようにする。	☆各自の進捗状況を見てもよいことを伝える。 かくにんチェックカード（タブレットに配付）
展開④ (10分)	ビールの作り方をまとめよう② ・のこりの時間で、できることを考えよう。	☆各自の進捗状況を見てもよいことを伝える。
展開③ (10分)	調べたことを伝え合おう。 ・近くの人と伝え合う。 ・分かったこと、知ったこと、思ったことなどを「あたたかい聴き方」「やさしい話し方」を意識して行う。	☆指し示すなど相手に伝えることを意識した説明を行うようにする。
ふりかえり (4分)		【まとめ・ふりかえり】 ふりかえりカード（タブレットに配付）